

紫波ネット 2

人と地域をつなぐ広報紙

2020・No.1025

| 岩手県紫波町 |



HPはこちら



今月の表紙

有限会社 紫波印刷

熊谷 賢さん(星山地区在住)

「町の魅力は人の温かさ」と話す熊谷さんは、(有)紫波印刷で一般印刷物以外にもガチャポンや新商品開発など多彩な企画を手掛けるアイデアマン。「地域の中には「みんなと一緒にやろう」という気概があり、地域のため、子どもたちのために何かをしようという経営者たちがいます。個人的にはいずれ体験型工作ラボの実現と、ワクワクする商品作りをしていきたいです」と夢を語ってくれました。

特集

町男女共同参画推進計画

06

「紫あ波せあっふるプランII」から暮らし心地の良いまちについて考えよう!

02 感謝と希望を胸に 二十歳の門出～348人が成人～

04 安全安心なまちづくりへ決意新たに | 14 選挙Topics

16 環のくに紫波 | 22 豊かな公が息づくまち | 24 行ってみよう



感謝と希望を胸に 二十歳の門出 ～348人が成人～

町の成人式は1月12日、サン・ビレッジ紫波で行われ、今年成人を迎えた348人(男性172人、女性176人)のうち281人が参加しました。会場には、背筋の伸びたりりしいスリッ姿の男性たち、きらびやかな振袖などに身を包んだ女性たちが続々と到着し、会場のいたるところで、友人たちとの再会に喜ぶ笑顔が溢れていました。

式典の中で熊谷泉町長は「人生100年時代といわれますが、皆さんはその入口に立ったところです。無限の可能性に挑戦してください」とメッセージを贈りました。

また、新成人代表の鎌田暁樹さん(赤沢)は「多くの人が協力し合えばその力は何倍にもなり、目の前の壁を乗り越えることができると思います。人と人とのつながりを意識し、友人との時間を大切に、支え合いながら日々を過ごしていきたい」と決意を述べました。

令和元年度
紫波町成人式



大人への
一歩を踏み
出します

新成人が抱く夢 どんな大人に なりたいですか？



佐々木 美穂さん(赤石)



北野 志穂さん(古館)



永井 美帆さん(赤石)



新井 皇貴さん(赤石)



熊谷 健吾さん(日詰)



山上 志乃さん(片寄)



山岸 悟さん(長岡)



阿部 了さん(星山)



佐々木 梨那さん(片寄)



安全安心なまちづくりへ 決意新たに

力強く堂々とした行進で町民に意気高い消防魂を示す団員たち



点検を受ける婦人消防協力隊



高らかな音色を響かせたラッパ隊

今年一年の地域安全を祈る町消防関係出初め行事が1月13日に行われました。参加した消防団員や婦人消防協力隊員、消防署員など約300人は、地域の人たちが見守る中、日詰商店街で土気旺盛な分列行進を披露。その後、ナックス駐車場で行われた式典で熊谷統監は「今

年に入ってから火災が続いています。決意を新たに各分団での啓発活動을 続け、町の安全安心を守っていただきたい」と訓示。また阿部秀夫団長は「町民の信頼と期待に応えるべく、安全安心なまちづくりを進めたい」と話し、関係団体全体で防火意識を新たにしました。

**新年の安全と安心を願い
勇壮な分列行進と消防出初め式**

交通死亡事故ゼロの継続を目指し 交通指導隊初点検



点検を受ける隊員たち

交通指導隊の初点検が1月10日、役場庁舎前で行われ、事故のない住みよいまちの実現を目指し、隊員が決意を新たにしました。当日は交通指導員17人と関係者が出席し、服装や車両、手帳、警笛の点検が行われました。点検を終えた熊谷町長は「昨年12月26日で交通死亡事故ゼロ2年を達成し、皆さまの

日々の活動に感謝申し上げます。今年は東京五輪の開催年であり、きりつとひきしまった精神を忘れず任務に当たっていただきたい」と訓示。佐々木俊彦隊長は「交通死亡事故ゼロの継続に努めるとともに、高齢者の交通安全や飲酒運転根絶を目指し、隊員とともに活動していきたいです」と意気込みを語りました。

電気自動車が発災時の電源に 岩手三菱自動車販売(株)・三菱自動車工業(株)と県内初の協定



(左から)岩手三菱自動車販売(株)の佐藤常務取締役、熊谷町長、三菱自動車工業(株)の川井担当マネージャー

町は12月12日、岩手三菱自動車販売(株)・三菱自動車工業(株)の2社と、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結しました。

協定では、大規模災害が発生した際、車両不足や避難所の停電に対応するため、給電可能な電気自動車を町へ無償貸与するなどの支援を定めています。貸し出されるのは主に「アウトランダーPHEV」。エンジンで発電した電気を大容量の駆動用バッテリーに蓄えることができ、フル充電、ガソリン満タンの状態であれば、1台で一般家庭の約10日分の電気をまかなうことが可能です。

役場会議室で行われた調印式では、熊谷町長と岩手三菱自動車販売(株)の



給電方法を実演。パソコンやスマホへの充電、暖房器具や調理家電などへの給電が可能

佐藤東耕常務取締役、三菱自動車工業(株)の国内営業本部国内ネットワーク開発部の川井担当マネージャーが協定書に署名。佐藤常務取締役は「地域貢献の一環として、避難者の安心感や役場の負担軽減につながればと思います」、川井担当マネージャーは「近年、災害が広域化・長期化し、被害が拡大しています。災害発生時には迅速な対応をさせていただきます」とあいさつ。熊谷町長は「災害はいつどこで発生するか分からず、有事の際は車両を活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

電気自動車で家電製品に給電するデモンストレーションも行われ、関係者がその性能を確かめました。

「男女共同参画社会」

男女共同参画社会は、男女がお互いの意思と立場を尊重しながら自立し、支え合い、いきいきと暮らす社会のことです。皆さんの身近な気付きが、男女共同参画社会実現のための大きな一歩です。

「紫あ波せあつぷるプランII」は、4つの基本方針のもと、それぞれの重点項目を町民との協働で取り組み、推進していこうとするものです。

計画期間：平成26(2014)年度～令和5(2023)年度の10年間

男女共同参画社会の実現

町民との協働

■方針Ⅰ

男女がお互いを尊重する意識の定着を図ります

- ①人権の尊重・男女平等の気付き
- ②人権学習・男女平等教育の推進
- ③固定的役割意識の緩和と慣行の見直し

■方針Ⅱ

男女が共に支え合い、心豊かで安全安心な社会づくりを進めます

- ①家庭生活における男女の支え合い
- ②地域ぐるみで見守る子育て
- ③DVの根絶を目指したサポート
- ④生涯を通じた健康づくり支援

■方針Ⅲ

仕事と生活の調和がとれた社会を目指します

- ①働きやすい職場環境づくり
- ②農業・自営業におけるパートナーシップ
- ③活動したい人、起業したい人への支援

■方針Ⅳ

あらゆる分野で男女が参画する機会を増やしていきます

- ①政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- ②NPO、コミュニティ活動における男女共同参画推進
- ③男女共同参画の視点を入れた災害に強いまちづくり

「紫あ波せあつぷるプランII」や男女共同参画社会づくりのための意識調査結果は、町のホームページに掲載しています。



町は、男女がお互いの立場を認め合い、その能力や個性を十分発揮できるように、全ての人が男女共同参画の意義を理解し、行動する社会を目指す男女共同参画推進計画「紫あ波せあつぷるプランII」を策定しています。特集では、町民の参加によって策定した「紫あ波せあつぷるプランII」(平成31年3月改定版)の概要と、男女共同参画社会について町民がどのように感じているかをまとめた調査結果(平成30年実施)を紹介します。

「紫あ波せあつぷるプランII」から
暮らし心地の良いまちについて考えよう！



総合計画市民ワークショップでも暮らし心地の良いまちを目指し、一人ひとりの気付きが話されました

「紫あ波せあつぷるプランII」の主な目指そう値

平成31年3月改定版では、29項目において目指そう値を設定しています。

方針	目指す項目	基準値 (平成29年)	目指そう値 (令和5年)
方針Ⅰ	女性の人権が尊重されていると思う人の割合	41.6%	➡ 60.0%
	社会や生活の中で、男女の地位(立場)が平等と思う人の割合	13.3%	➡ 20.0%
	「LGBT」について知っている人の割合	31.4%	➡ 50.0%
	「男は仕事、女は家庭」という固定観念に同感しない人の割合	48.6%	➡ 55.0%
方針Ⅱ	父親が何らかのかたちで子育てに関わっている割合	98.6%	➡ 99.0%
	警察や配偶者暴力相談支援センターが、DV被害者を保護することを知っている人の割合	46.1%	➡ 70.0%
	特定健康診査受診率(紫波町国民健康保険加入者対象)	56.7%	➡ 60.0%
方針Ⅲ	職場において男女の待遇が平等と思う人の割合	45.0%	➡ 48.0%
	女性が働きやすい社会だと思う人の割合	44.6%	➡ 50.0%
	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の意味を知っている人の割合	17.0%	➡ 50.0%
	仕事以外に何か活動している人の割合	70.1%	➡ 75.0%
方針Ⅳ	法定審議会などの女性委員の割合	24.5%	➡ 30.0%
	地区懇談会、意見交換会の女性の参加者割合	30.2%	➡ 40.0%
	農業委員の女性委員の登用数	1人	➡ 3人
	市民活動における女性リーダーの割合	41.0%	➡ 50.0%

「紫あ波せあつぷるプラン」の推進に向けて、広く町民の意見を聞き施策に反映するため、町男女共同参画推進委員会(小岩美津子委員長、以下「推進委員会」)を設置しています。推進委員会は町内の多彩な分野から町長の委嘱を受けた13人の委員で構成され、「紫あ波せあつぷるプラン」の総合的な推進について意見交換を行い、男女共同参画社会実現のための提言やセミナーの開催などを行っています。

「男女共同参画推進委員会」

男女共同参画セミナー

町と推進委員会は11月17日、情報交流館で男女共同参画セミナーを開催しました。「ワーク・ライフ・バランス」をテーマに、リコージャパン(株)岩手支社の中嶋司さん、(株)俣光の小野光広さん、NPO法人アウルズ紫波スポーツアカデミーの綱嶋久子さんがワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みや、次世代育成に込める思いなどを発表。コーディネーターをNPO法人いわて連携復興センターの大吹哲也さんが務めました。



いきいきと働ける職場づくりや岩手・紫波で働く魅力を語るゲストの皆さん

よく使われる男女共同参画関連用語

○ジェンダー(社会的性差)

社会的・文化的に形成された「男性像」「女性像」のような性別のこと

○ドメスティック・バイオレンス(DV)

配偶者など親しい関係にある人からの身体的、精神的、性的、経済的な暴力のこと

○配偶者暴力相談支援センター

DV防止と被害者保護のため相談、カウンセリング、保護、自立支援などを行う機関

○ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。経済的基盤が確保でき、自らの意思で多様な生き方が選択できること

○家族経営協定

家族間の平等な農業経営参画のため、経営方針や給料、休日などを家族で話しあって合意したルール

○男女共同参画サポーター

男女共同参画の研修を修了し、岩手県知事が認定した男女共同参画社会の推進役

相談先

○一般相談・DV相談について

岩手県男女共同参画センター ☎606-1762

○LGBT、女性の就労問題について

岩手県男女共同参画センター ☎601-6891

○セクハラ・育児休業などについて

岩手労働局雇用環境・均等室 ☎604-3010

○人権問題について

みんなの人権110番 ☎0570-003-110

○DVや児童虐待、ストーカー、性犯罪被害について

紫波警察署 ☎671-0110

○児童虐待について 児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189

○女性の活躍促進、市民活動について

紫波町役場 企画課 ☎672-2111

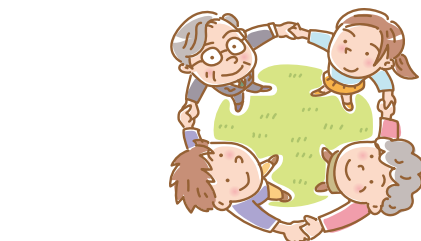
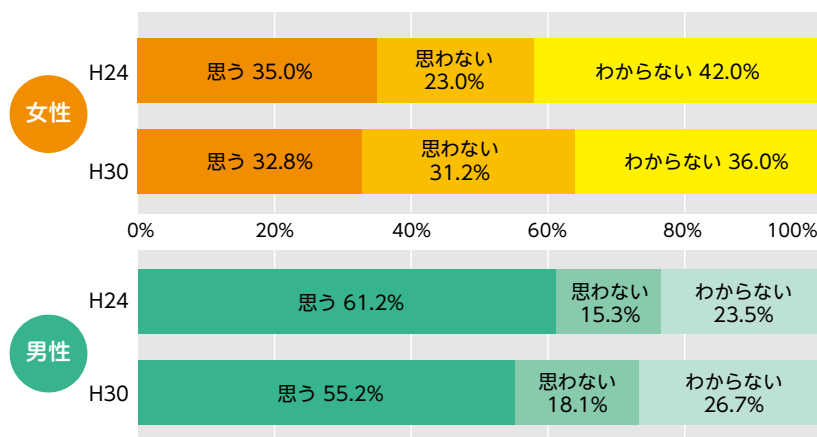
「紫あ波せあつぷるプランII」主な取り組みと意識調査の結果

「紫あ波せあつぷるプランII」（平成31年3月改定版）の策定に当たり、平成30年2～3月に町内在住の2000人に対し、意識調査を実施しました。回答いただいた694件の結果を、「紫あ波せあつぷるプランII」に反映しました。計画の主な取り組みと関連する意識調査の結果を紹介します。

方針I ^{ひととひと}男女がお互いを尊重する意識の定着を図ります

●人権の尊重・男女平等の気付き

Q今の世の中、女性の人権が尊重されていると思いますか



H24…女(n=374) 男(n=268)
H30…女(n=414) 男(n=277) n= 回答者実数

【具体的な取り組み】

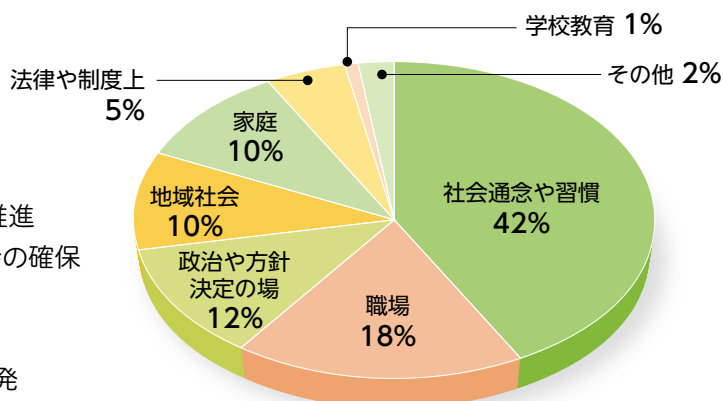
- ・人権や男女平等に関する研修、啓発事業の実施
- ・男女共同参画、人権に関する情報提供や関連資料の整備
- ・人権擁護などの関係機関との連携強化

●人権学習・男女平等教育の推進

Q男女の地位で不平等があるのは、どの分野だと思いますか

【具体的な取り組み】

- ・人権ハンドブックなどを活用した男女平等教育の推進
- ・教育関係者、児童・生徒の保護者などへの研修機会の確保
- ・異性に対する正しい認識のための教育
- ・学校における男女混合名簿の採用
- ・LGBTなどの性的少数者への偏見解消のための啓発



インタビュー

ジェンダー・バイアスに気付くことが始まり

男女共同参画の推進は、既存の社会課題に対する解決アプローチの一つです。固定的な性別役割や長時間労働などは、少子化や格差社会を生み出し、幸福感を減退させる要因にもなっています。家庭や職場、社会におけるさまざまな取り組みが目に見えた成果につながるまで時間が必要かもしれませんが、まずは自分の暮らし心地の良い生活を目指して、アクションを起こしてみましょう。大事な

ことは女性も男性も自分の中にあるジェンダー・バイアス（性別による偏見）や不合理な信念に気付くこと、そして身近で得意な分野から改善に向けた行動をしてみることです。場合によっては専門の相談機関も頼りになります。そうした一人ひとりの暮らしやすさや働きやすさに向けたビジョンや行動が、ゆくゆくは暮らし心地の良い社会の形成につながると思います。



男女共同参画推進委員会
委員長職務代理者／富士大学経済学部専任講師
内城 寛子さん(日語)



男女共同参画推進委員、農業委員
工藤 姫子さん(赤沢)

男女共同参画社会には「思いやり」が必要

農業委員を務めていますので、農業委員会では機会があれば推進委員会で出た話題や男女共同参画に関する話を伝えるようにしています。

男女共同参画を進めるためには、必要なら欧米に倣って社会活動における男女のバランスを数値目標として決めてもいいでしょう。目標値を

決めて取り組むことは重要なことだと思っています。

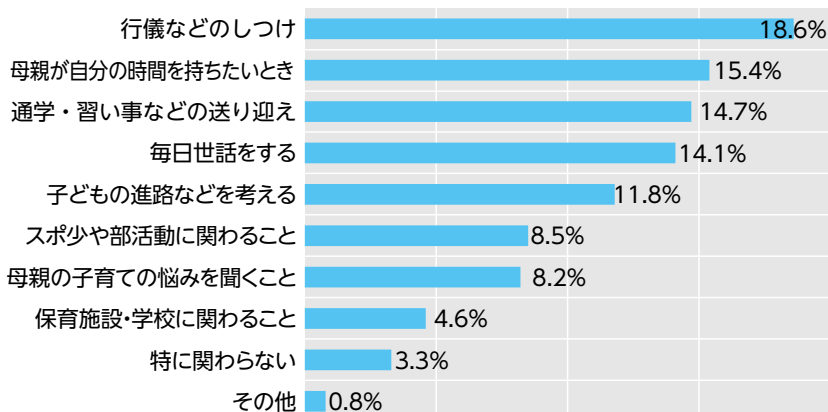
自分が忙しいときは、自分が一番大変だと思います。しかし「あの人は私より大変だ」と思う気持ちの余裕を持てれば、助け合うことができます。思いやりが男女共同参画社会をつくるのだと思います。

方針Ⅱ ひとひと 男女が共に支え合い、心豊かで安全安心な社会づくりを進めます

●家庭生活における男女の支え合い ㊦父親が子育てにどのように関わっていますか

㊦介護が必要になったとき誰に 介護してもらいたいですか(上位3番)

	男 性	女 性
1番	配偶者 27.4%	介護施設 27.6%
2番	介護施設 27.3%	ホームヘルパー 23.2%
3番	ホームヘルパー 19.8%	配偶者 18.6%



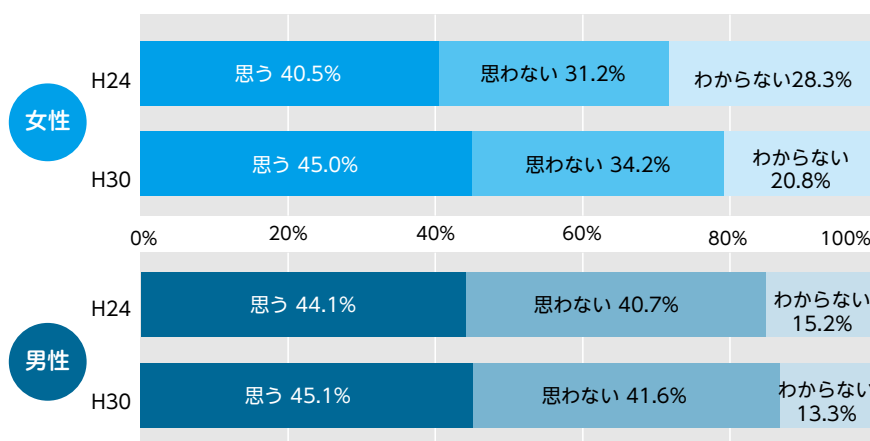
【具体的な取り組み】

- ・家庭生活でのバランスがとれた役割分担の啓発
- ・福祉サービスの充実と適正なサービスの提供
- ・育児、食育など家庭教育と連携した男女共同参画の推進

方針Ⅲ 仕事と生活の調和がとれた社会を目指します

●働きやすい職場環境づくり

㊦あなたの職場では男性と女性の待遇が平等だと思いますか



H24 女(n=205) 男(n=145)
H30 女(n=240) 男(n=173)

【具体的な取り組み】

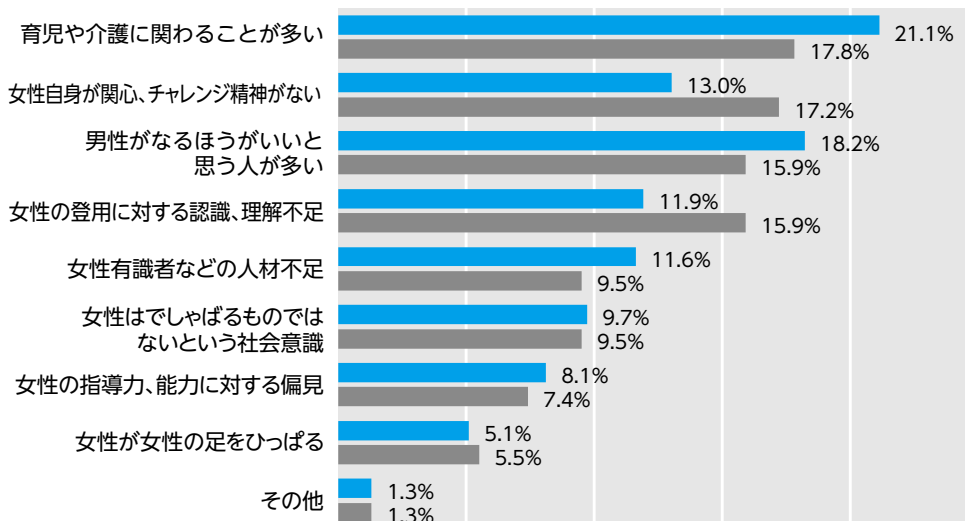
- ・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための啓発
- ・雇用の維持、確保の働きかけ
- ・能力開発の支援機会の情報提供



方針Ⅳ ひとひと あらゆる分野で男女が参画する機会を増やしていきます

●政策・方針決定過程への女性の参画拡大

㊦役職への女性進出が進まない原因はどこにあると思いますか



■ 女(n=1043)
■ 男(n=687)

【具体的な取り組み】

- ・ポジティブアクションによる審議会などへの女性割合の目標設定
- ・市民参加を進め、市民の意見をまちづくりに生かす
- ・情報の入手や発信が、誰でも平等にできる環境の整備



町育児休業代替任期付職員 採用候補者 選考試験

町は、育児休業を取得する職員の代替として勤務する職員の採用候補者名簿登録を目的とした選考試験を行います。職員の育児休業の期間に応じて任期が設定され、取得状況によっては、採用候補者名簿に登録されても採用にならない場合があります。

■職種と登録予定数

一般事務 2人／保健師 2人

■受験資格

○一般事務 令和2年4月1日現在18歳以上(平成14年4月1日までに生まれた人)で、高校以上(大学、短期大学を含む)を卒業した人または令和2年3月31日までに卒業見込みの人

○保健師 保健師助産師看護師法の規定による保健師の免許を取得している人または令和2年3月31日までに取得見込みの人

■試験日・会場

3月15日(日) 紫波町役場

■申込・問合せ 人事秘書室で交付または町のホームページに掲載する申込用紙などに必要事項を記入し、3月4日(水)までに提出(土日祝を除く)



※受付時間は午前8時30分～午後5時、郵送申込は3月4日(水)午後5時必着

総務課 人事秘書室

☎672-2111 内線2350

図書館運営専門員の採用試験

町図書館の業務に従事する図書

館運営専門員(会計年度任用職員)の採用試験を行います。

■受験資格 高校以上を卒業した人で、パソコン(ワード、エクセル)の基本操作ができる人

■採用予定数 2人

■勤務条件 任期:令和2年4月1日～令和3年3月31日
勤務時間:週33時間45分(1日6時間45分)

■試験日・内容 書類選考後、面接試験により合格者を決定します。
面接 2月25日(火) 情報交流館

■申込・問合せ 町図書館で配布または町のホームページに掲載する申込書類に必要事項を記入し、作文とともに2月19日(水)午後6時までに提出
情報交流館事務局
☎672-2111
内線6313



事務補助員の登録

町の行政事務補助全般に従事する事務補助員(会計年度任用職員)の登録を随時受け付けています。

なお、登録者の中から必要に応じて選考を行い任用するため、必ずしも任用されるものではありませんので、ご了承ください。

■勤務条件

・任用期間 原則1会計年度(4月1日～翌年3月31日)以内
・給料 月額12万8032円
・勤務日・時間 原則、毎週月曜日～金曜日の5日間
1日7時間30分(週37時間30分)
午前8時30分～午後5時

■登録方法

人事秘書室で配布または町のホームページに掲載する申込書に必要事項を記入し、提出。



■選考方法

任用の必要が生じた場合に、登録者の申込書の内容で書類選考を行い、必要に応じて面接などを実施。

■問合せ 総務課 人事秘書室

☎672-2111 内線2353

旧庁舎敷地活用に関する 事業提案の募集

町は、旧庁舎敷地を活用する事業提案を募集しています。詳細は問い合わせください。

■募集要項の配布期間

2月21日(金)まで

■応募申込書の提出期限

3月13日(金)午後5時必着

■申込・問合せ

財政課 財産管理室

☎672-2111 内線2333

町有財産(土地)の売却物件 のお知らせ

町が保有する財産(土地)の売却を行います。要件などがありますので事前に問い合わせください。

■売却物件 平沢字松田地内 6区画 合計面積1,009.01㎡

■申込 2月26日(水) 午前8時30分から申込受付開始。

■問合せ 企画課 地域開発室

☎672-2111 内線2324

こずかた診療所 内科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。

※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵工新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

3/12(木)
発売

赤
甘
口



紫あ波せワイン

紫あ波せワイン発売記念

パーティー

日時・3/13(金) 会場・ナクスホール

会費・4000円



岩手県 紫波町産ぶどう 100%

お得な 900ml

(株)紫波フルーツパーク 紫波町連山字松原1-11 道の駅紫波200メートル奥

☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

暮らしの情報



催し

いわてS-1スイーツフェア2020

今回で8回目となるウィンターシーズン恒例の人気イベントです。地元で人気のスイーツ&おやつをはじめ、ご当地グルメが店出します。来場者参加型のスイーツ人気投票が実施されるほか、ステージイベントやご当地キャラクターが会場を盛り上げ、県央エリアの豪華賞品が当たる大抽選会も行われます。

入場無料 申込不要

■日時 2月22日(土)・23日(日)
午前10時～午後4時

■会場 ビッグルーフ滝沢(滝沢市下鶴飼1-15)

■問合せ

盛岡・八幡平元気ま
るごと発信事業実
行委員会事務局(盛
岡広域振興局 経営企画部内)
☎629-6512



もりおか就職ガイダンス

大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校、公共能力開発施設などを令和3年3月に新規卒業予定の学生および既卒者または若年求職者(おおむね35歳未満)を対象とした合同企業説明会が開かれます。

■日時 3月9日(月)午後1時～4時

■会場 ホテルメトロポリタン盛岡
ニューウイング4階(盛岡市盛岡駅前北通2-27)

■問合せ 盛岡公共職業安定所(ハローワーク盛岡) 求人企画部門
☎624-8905

紫波ウイング ランニングバイク体験会

お子さんの自転車デビューをお手伝いします。自転車に乗るバランス感覚が早く身につく、お友達と楽しく体験できます。練習日もあるので、申し込みの上、気軽にご参加ください。

■日時 3月15日(日)

午後1時30分～3時30分頃

■会場 サン・ビレッジ紫波

■対象・定員 6歳以下の未就学児
(今年4月1日時点)で町内または
近隣に在住の人 30人程度

■参加費 1000円

■持ち物 内履き、手袋

※ヘルメット、ランニングバイク
(ペダル、チェーンの無いもの)持
込可。レンタルできますが数に
限りがあります。

■申込・問合せ 3月10日(火)まで
紫波ウイング事務局

☎080-5847-5962

✉shiwa.wing@gmail.com

第34回陸上自衛隊 岩手駐屯地定期演奏会

当日、会場で入場整理券を配布し
ます。

入場無料

■日時 3月15日(日)

開場:午後2時15分

開演:午後3時

■会場 マリオス 大ホール(盛岡市
盛岡駅西通2-9-1)

■申込・問合せ

陸上自衛隊岩手駐屯地 司令業務
室 ☎688-4311 内線256



募集

町職員中途採用試験

町は、令和2年6月1日以降採用予定の社会人を対象とした中途採用試験を行います。

作文や面接などの人物試験を重視し、公務員用の特別な受験勉強のいらないSPI試験により選考を行います。

■職種と採用予定数

事務(正職員) 3人

■受験資格 次のいずれも満たす人

- ①昭和54年4月2日以降、平成2年4月1日までに生まれた人で、高校以上(大学、短期大学を含む)を卒業した人
- ②令和2年4月1日までに5年以上民間企業などで職務経験を有する人

■試験日・会場

○第1次試験

3月15日(日) 紫波町役場

○第2次試験

4月12日(日) 紫波町役場

○第3次試験

4月19日(日) 紫波町役場

■申込・問合せ

人事秘書室で交付
または町のホーム
ページに掲載する
申込用紙などに必
要事項を記入し、3月5日(木)まで

に提出(土日祝を除く)

※受付時間は午前8時30分～午後5時、郵送申込は3月5日(木)午後5時必着

総務課 人事秘書室

☎672-2111 内線2350



紫波町民 平日限定 入浴割引券

大人 700円 → 400円

子ども350円 → 200円

※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で1グループ、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額はお一人様の入浴料金となります。※土・日・祝祭日は利用不可です。

《割引券有効期間》令和2年3月31日〆まで

要予約 令和2年3月1日〆よりダイヤ改正

0円バス
毎日運行!!

発着場所	発	時	刻
ラ・フランス温泉館	発	9:00	14:30 16:00
J R日詰駅	発	9:15	14:45 16:15
J R紫波中央駅	発	9:30	15:00 16:30
J R古館駅	発	9:45	15:15 16:45
ラ・フランス温泉館	着	10:00	15:30 17:00

※天候や道路状況により予告なく時間を変更する場合がございます。※車内での喫煙・飲食はお断り申し上げます。※上記場所以外での乗車・降車はお断り申し上げます。

※0円バスの乗車には前日までの事前予約が必要となります。



お問い合わせ

紫波町小屋敷新在家90番地

☎019-673-8555

ラ・フランス温泉館 検索 <http://www.lafrance.co.jp/>

お肌に優しいアルカリ性温泉

La France
ラ・フランス温泉館



ジ・ホロホロ鳥・七面鳥・ダチョウを飼育している人→ 6月15日(月)まで

※愛玩用に少数の家畜を飼育している人にも報告の義務があります。

■**報告内容** 家畜保健衛生所から配布された様式に、今年2月1日時点の飼養状況を記入してください。報告様式は、役場農林課、JAいわて中央畜産課でも入手できます。畜舎の平面図などの添付書類は、前年と変更がなければ省略可能です。

■**提出先** 下記のいずれかに提出してください。

- ・中央家畜保健衛生所(郵送、持参またはファクシミリで受付)
☎688-4111 FAX 688-4012
〒020-0605 滝沢市砂込390-5
- ・役場 農林課 農業振興室(持参のみ受付)
☎672-2111 内線2245
- ・JAいわて中央 営農販売部 畜産課(持参のみ受付) ☎676-3512



相談

こども救急相談電話

県は、夜間に電話で子どもの病気の対応や事故の応急処置について看護師に相談ができる「こども救急相談電話」を設置しています。子どもの急な発熱、嘔吐、下痢、腹痛、誤飲、打撲など、どうしたら良いかわからないときにぜひご活用ください。

■**受付時間** 午後7時から11時まで
※年中無休

相談電話

#8000 または ☎605-9000

若者のための 就職診断&相談会

「就職活動をしているがなかなか決まらない」「自分に合った仕事が見つからない」「前職からブランクがある」「働くことに不安がある」など、さまざまな思いを抱えながらも就職や自立に向けて一歩踏み出せないでいる15歳から45歳までの人を対象とした、就職相談会が開催されます。申し込みの上、お越しください。

相談無料

■**日時・会場** 2月26日(水)やばーく 活動スペースC(矢巾町駅東1-12-1)

2月27日(木) 町情報交流館 2階小スタジオ2

■**時間** 午後1時30分～、2時30分～、3時30分～(各回50分程度)

※各回先着1人または1組

■**申込・問合せ** 2月25日(火)まで
もりおか若者サポートステーション
☎625-8460

✉mail@morisapo.jp

- ・電話受付…月～金曜、第2・4土曜日(祝日除く) 午前9時～午後5時
- ・メール受付…氏名・年齢・住所・電話番号を記載の上、申し込みください。

女性のための 女性司法書士による相談会

相続、借金問題、家族間の問題など、法律の関係する悩みを抱えた女性を対象に、女性司法書士が相談に応じます。

相談無料

①特設無料相談所

■**日時** 3月1日(日)

午前10時～午後4時

■**会場** 岩手県司法書士会館(盛岡市本町通2-12-18)

②無料電話相談

■**日時** 3月1日(日)

午前10時～午後4時

■相談電話

☎0120-823-815(通話料無料)

☎623-3355(通話料有料)

【問合せ】

岩手県司法書士会

☎622-3372

プレミアム付き商品券

使用期限3月31日(火)まで

町プレミアム付き商品券の使用期限が迫っています。未使用の商品券をお持ちの人は、忘れずに期限内に使いましょう。

■**問合せ** 商工観光課 商工観光室
☎672-2111 内線2212

防火ポスター展示会 2月23日(日)～3月1日(日)

紫波消防署は、情報交流館2階市民ギャラリーで防火ポスター展示会を開催します。作品の中には、町内の小学生が描いた作品もありますので、お誘い合わせの上、ご覧ください。 ■問合せ 紫波消防署 ☎676-7119



会計年度任用職員の募集

町の非常勤職員・臨時職員の制度が今年4月から大きく変わります。新しい制度における名称は「会計年度任用職員」で、身分は一般職の地方公務員となります。

会計年度任用職員は、期末手当の支給(一定の要件を満たす場合)、休暇制度の拡充など、現在の非常勤職員・臨時職員と比べて勤務条件が改善されます。

会計年度任用職員の職種は、多岐に渡ります。職種ごとの募集の詳細は、決定次第、広報紙または町のホームページに掲載します。

■**問合せ** 総務課 人事秘書室 ☎672-2111 内線2353



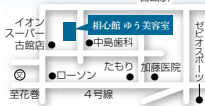
相心館 ゆう 美容室

サクサクと鉄の音で
デザインが決まる
ハサミの切れ味が心地よい

美容師
アルバイト
募集

ホームページでお得情報をご覧ください。
携帯・スマホからアクセス!

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL 019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
E-mail yu@posh.jp



暮らしの情報



お知らせ

3月1日(日)～3月7日(土)は
建築物防災週間です

建築物防災週間は、災害による人命や建築物の被害を防止し、安心して生活できる空間を確保するため、建築物に関する防災知識の普及を図り、建築物の防災対策を推進することを目的としています。

県は、防災上の配慮が強く求められる建築物を中心に、町・消防と共同で防災査察を実施し、必要に応じた指導を行います。

また、期間中は次の場所に防災相談所を設置し、地震や火災、がけなどの建築物の防災に関するご相談にお答えしますので、ご利用ください。

■防災相談所の設置場所

岩手県 県土整備部 建築住宅課
☎629-5936 FAX 651-4160
盛岡広域振興局 土木部
☎629-6650 FAX 652-6924

人権擁護委員再任のお知らせ

町長が町議会の意見を聞いて推薦した次の人が、法務大臣から令和2年1月1日付けで人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、地域や小中学校での人権啓発活動を行うほか、福祉センターで実施している「ふれあい相談所」の相談員を務め、皆さんからの人権相談に応じています。

【人権擁護委員】

佐々木 悦子さん(再任・4期目)

小笠原 久子さん(再任・4期目)

■問合せ 健康福祉課 福祉推進室
☎672-2111 内線1320

家畜を飼育している人は 定期報告書を忘れずに提出 しましょう

家畜伝染病予防法により、家畜を飼育している人には「家畜の衛生管理状況等の報告(定期報告書)」が義務付けられています。口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を予防するためにも、忘れずに報告しましょう。

■報告期限

- 牛・豚・馬・めん羊を飼育している人→4月15日(水)まで
- 鶏・アイガモ・アヒル・ウズラ・キ



キラッと★ちゃ・ちゃ・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。今回は、町内の児童施設で、日々の体験の中からさまざまなことを学び、「生きる力」の土台となる力を育てている子どもたちの様子が垣間見える一場面を紹介します。

育ちの芽 vol.8

最近、コマ回しを楽しんでいる年長児のR君。去年は「できないから…」と乗り気でなかったR君ですが、一年経って友達がコマを回す姿を見ているうちに「僕もやる」と練習を始めました。毎日のように先生にコツを教えてもらいながら何度も何度も練習して、ついに回せるようになりました。すると今度は、友達や先生が大きなコマを回しているのを見て「それもやりたい」とまた練習を始め、今度はあっという間に回せるようになりました。さらに次は、回っているコマをひもで持ち上げてキャッチする技にチャレンジ。何度も失敗し、顔にぶつけて痛い思いをしても諦めずに挑戦し、とうとうできるようになりました。少しずつ自信がついて次々と挑戦しているR君。今度は何に挑戦するのか楽しみです。 ～長岡児童館から～



R君

やった～！
うまく回せた！

机の上でのコマ回しに
挑戦しているR君たち

いろいろな種類のコマに挑戦しています

すごい！
私もうまく回せるよう
になりたいな…！
(年少児Kちゃん)

次は僕が
成功させるぞ！
(年長児N君)



保育者のまなざし

長岡児童館では、冬の時期になるとコマ遊びがブームになります。季節の遊びでもあるため、子どもたちに興味を持ってもらえるようにと、他のおもちゃと一緒にさまざまなコマを用意しています。初めて挑戦する児童は簡単な手回しゴマを手に取り、徐々にコマ回しに慣れてきた児童は大きなコマや難易度の高いコマにも挑戦していきます。年上の児童や友達が挑戦している姿は、子どもたちへの刺激となり、「やってみたい」という新たな挑戦に向けた気持ちの芽生えにつながっていると感じています。

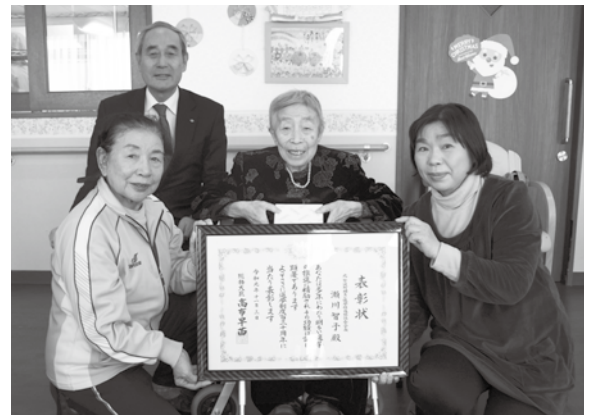
私たち保育者は、子どもたちの「やりたい気持ち」がたくさん芽生えふくらんでいくよう、これからも関わっていきたいと思います。

瀬川智子さん(日詰)が総務大臣表彰を受賞 ～選挙制度130周年記念 選挙関係功労者表彰～

令和元年は、明治22年2月11日に衆議院議員選挙法が公布されてから130周年に当たる年でした。これを記念して、多年にわたり選挙の管理執行に精励し、功績を挙げた人に対して表彰が行われました。

町内では、紫波町明るい選挙推進協議会会長を務めた瀬川智子さんが総務大臣表彰を受賞。投票率向上に向けた取り組みに尽力したほか、女性を対象とした選挙啓発活動を行い、女性による政治参加の重要性について意識の醸成に貢献されました。

12月24日に熊谷町長から表彰状の伝達を受けた瀬川さんは「今回の受賞は皆さんの協力があってこそ。今後も社会に貢献していけるよう、さらに選挙啓発などに協力していきたいです」と感謝と決意を述べました。



表彰状を受け取り笑顔を見せる瀬川さん(右から2番目)

選挙や政治への 関心深める ～紫波二中で啓発授業～



「投票先を決めるとき、誰かに相談しても良い?」



クイズを通じて理解を深めた生徒たち

町明るい選挙推進協議会主催の「明るい選挙啓発授業」が10月17日、紫波第二中学校(内田興子校長)で行われました。3年生34人に対し、町選挙管理委員会事務局の職員が選挙制度に関する講義や、実際に使用する投票箱や投票用紙のサンプルを使って投票の仕方などについて説明。生徒からは「20代の投票率が低いことが気になりました。これからの社会を盛り上げていく世代が、投票に参加していないことは問題点だと思います」、「自分たちもあと3年経てば選挙権を持つので、社会のために積極的に選挙に参加していきたいです」など、将来の有権者としての自覚を感じさせる感想が多く寄せられました。

明るい選挙啓発ポスター コンクールで3人が優秀賞

明るい選挙啓発ポスターコンクールの第2次審査(県審査)で、県内から応募された1074点の作品の中から、町内小中学生3人の作品が優秀賞を受賞しました。

彦部小学校5年 赤川 優月さん

【作品への思い】岩手県を投票箱に表し、花畑で囲まれている絵を描きました。たくさんの方の投票で大きな花を咲かせ、未来を華やかにしてほしいという思いを込めました。



水分小学校6年 中村 ゆきかさん

【作品への思い】いろいろな人がスマホを使う時代になり、未来では誰もがいつでも投票できるようになってほしいという願いを込めて、スマホで投票している絵を描きました。



紫波第一中学校3年 菅原 朋伽さん

【作品への思い】「明るい選挙」は若者中心であってほしいと思い、学生(18歳)に筆を持たせて未来を創ることを表現しました。



本や音楽から感じた思いをありのままに ～胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」～

町は1月26日、野村胡堂・あらえびす記念館で第5回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」の表彰式を行いました。

名誉町民で、「銭形平次捕物控」などの作者として知られる野村胡堂は、「あらえびす」の名でクラシック音楽の評論家としても活躍した人物です。このコンクールは、その功績をたたえ、町民の皆さんをはじめ、より多くの人に読書と音楽に親しんでほしいという願いで始まったものです。

本年度は町内外から114点の応募



表彰式に参加した皆さん

があり、そのうち22人の作品が入賞しました。表彰式では「胡堂賞」、「あらえびす賞」、「教育長賞」の受賞者10人に賞状と副賞が手渡されました。

表彰後、各部門の受賞者を代表し6人が作品を朗読発表。読書感想文部門の3人の発表は、読書を通じて自分自身を見つめ直したり、世界に目を向け、考えを膨らませたりする様子が見え、考えるものでした。また、音楽感想文部門では、朗読の前に発表者が選んだ曲を鑑賞。実際に曲を聴くことで、曲のどの部分でどのように心を動かされたかが、よりいきいきと伝わってくる発表でした。

参加した家族や関係者約30人は、6人のすばらしい発表に感心して聞き入っていました。

入賞作品はPOPコンクール入賞作品とともに、町のホームページに掲載しますのでご覧ください。



自身の作品を堂々と発表した受賞者



【第5回胡堂・あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」入賞者】（賞・学校名・学年・氏名・題名／敬称略）

●読書感想文部門

《小学校低学年の部》

胡堂賞

古館小学校1年 佐々木 彩名
「いいこと、たくさんみつかるぞ」

教育長賞

水分小学校1年 佐藤 美緒
「心ってどこにあるの」

優秀賞

水分小学校2年 佐々木 琳央
「なくということ」
星山小学校2年 作山 心
「じぶんの心」

《小学校中学年の部》

胡堂賞

古館小学校4年 藤澤 悠乃
「あきらめない心が生んだ奇跡のパン」

教育長賞

上平沢小学校3年 飯塚 蘭
「この本が教えてくれたこと」

優秀賞

赤石小学校4年 藤原 遥生
「はな子は悪くない」
水分小学校3年 吉田 紅
「わたしのたから物」

《小学校高学年の部》

胡堂賞

彦部小学校6年 佐藤 百笑
「子どもだからできること」

教育長賞

赤石小学校5年 佐々木 陽翔
「学校に行く理由」

優秀賞

古館小学校5年 佐藤 央良
「コシヒカリづくりから学んだこと」

《中学校の部》

胡堂賞

紫波第二中学校3年 森田 開
「バスケット部で学んだこと」

教育長賞

紫波第二中学校1年 遠山 美穂
「あきらめない事と絆の大切さ」

優秀賞

紫波第一中学校1年 櫻場 ゆきの
「『いい人ランキング』を読んで」

《高等学校・一般の部》

優秀賞 紫波総合高等学校3年 東 柚月

「『コンビニ人間』を読んで」

※胡堂賞、教育長賞の該当作品はありませんでした

●音楽感想文部門

《小学校低学年の部》

あらえびす賞

佐比内小学校1年 多田 真悠
「こねこのダンスパーティ」

教育長賞

上平沢小学校1年 北條 晴喜
「『おどる こねこ』をきいて」

《小学校高学年の部》

あらえびす賞

水分小学校4年 武田 花菜
「作曲家の技」

教育長賞

古館小学校4年 松尾 悠斗
「届け!!ぼくたちの歌声『Gifts』」

《中学校以上の部》

教育長賞

花巻市立花巻北中学校2年 藤原 知慈
「『ブラームス交響曲第二番』が好きだ」

優秀賞

花巻市立宮野目中学校3年 高橋 小雪
「音楽で伝えたいこと」
花巻市立花巻北中学校2年 松井 梗輔
「この曲と出会って」

※あらえびす賞の該当作品はありませんでした



公衆衛生模範団体知事表彰受賞

日詰地区衛生組合

県公衆衛生組合連合会会長表彰受賞

旗福正美さん(日詰地区)

町立片寄小学校PTA

(左から)片寄小学校PTA会長の川村弘幸さん、旗福正美さん、熊谷町長、日詰地区衛生組合組合長の大野久さん



日詰地区衛生組合が、長年にわたり地域の環境衛生活動に尽力した団体を表彰する「公衆衛生模範団体知事表彰」を受賞しました。昭和40年4月から活動を開始し、地域の環境美化運動やクリーン活動などの取り組みを続けてきました。最近では、町ポイ捨て監視員日詰地区の担当と連携し、ポイ捨て監視パトロールなどの活動を行っています。

また、日詰地区の旗福正美さんと町立片寄小学校PTAが「県公衆衛生組合連合会会長表彰」を受賞しました。

旗福さんは、環境衛生区長として地域のごみ集積所の管理や環境美化活動などを積極的に進めているほか、町環境衛生組合連合会役員として町全体の環境衛生活動にも尽力してきました。さらには民生委員なども担っており、住みよい地域社会の形成に貢献しています。

町立片寄小学校PTAは、学区内の住民が一丸となった集団資源回収を2回開催し、地区住民への資源リサイクルの啓発や地域コミュニティの醸成が図られています。30年以上継続して取り組んでおり、90%以上の世帯が集団資源回収に参加しています。

環境に関わる

幅広い活動が評価

NPO法人紫波みらい

研究所が栄えある受賞

NPO法人紫波みらい研究所(阿部礼子理事長)が、盛岡市のアイーナで1月25日に開かれた「いわて水と緑の交流フォーラム」で、水と緑を守り育てる活動知事感謝状を授与されました。同法人は平成14年に設立され、平成15年から親子で森を探検する「環境探検隊」の活動を実施。16年からは首都圏の大学や地域と連携した森林整備や間伐体験、20年からは小学生や町民を対象とした植樹・育樹事業など森林学習を開催しており、森林資源の大切さや、環境問題を広く啓発する活動が評価されました。



阿部礼子理事長(中央)と八重畑祐見子副理事長(左)、同席した柳沢守環境課長(左)

ごみの不法投棄は犯罪です

不法投棄は法律により処罰され、5年以下の懲役または1千万円以下の罰金が科されます。

不法投棄は景観を損ねるだけでなく、水や土壌の汚染など環境破壊につながる重大な犯罪です。空き缶やたばこなどのポイ捨て、犬の散歩時のフンの不始末など、「自分さえ良ければ」という公共マナーを欠いた身勝手な行動も絶対に許されません。

町は、ポイ捨て監視員によるパトロールなどで防止に努めていますが、地域の皆さんのご協力が必要です。

地域の皆さんが気持ちよく生活できるよう、不法投棄やポイ捨てを無くしましょう。

◆テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の正しい処分方法

(1)製品を購入した店や、新しく買い替える店に引き取りを依頼して、料金と収集運搬費用を支払い、製品を引き取ってもらう。

(2)製品を購入した店が遠方であったり、インターネット購入のため引き取りできない場合は、最寄りの郵便局でリサイクル料金を支払い、指定引取場所へ持ち込む。

(3)家電リサイクル収集運搬業者に有料で引き取りを依頼する。



地域おこし協力隊だより

しわわ

shi・wa・wa

地域おこし協力隊
北條 苑美さん

■担当 企画課 地域おこし協力隊 ☎672-2111 内線5126

移住を希望する
方々へ町の魅力を
PRしました



暦の上では立春を過ぎ、寒さの峠を越えた季節となりました。私が町へのUターンを検討していた頃、こちらで生活するにあたり「冬の厳しい寒さが辛い」という記憶が懸念事項の一つでしたが、いざ一冬を過ごしてみると、車社会のため外を歩く時間がほとんど無く、当初の心配ほどの厳しさは感じませんでした。次のシーズンは安心して冬を迎えられそうです。

さて、少し前のことになります。が、昨年10月に東京で開かれた「いわて風と土の集いin東京」イーハトー部の暮らしと移住の始め方」という、県主催の移住相談イベントに、町のブースを出展してきました。岩手の風土を感じ、岩手への移住の始め方、岩手との関わり方を見つけていく場として設けられたこのイベントへは、県内多くの市町村がブースを並べ、来場者へそれぞれの地域を紹介しました。イベント全体の来場者数は約170人で、主催者の予想を超えるほどの盛況となりました。



盛況だった
移住相談イベント

移住先として町に興味がある人の懸念は主に、就業先、住居の確保、そして冬季の雪事情についてでした。特に雪事情については、年中インターネットで検索して状況を把握できるものでもなく、住んでいる人のリアルな声を聞きたいから質問をしたのだと思います。イベント時点では、私自身も近年の雪事情を知らず、必死に15〜20年ほど前の記憶を呼び起こしながら話をしました。

そんな私も久しぶりに町で一冬を過ごしました。道路の雪かきは毎日必要になるほどではなく、寒さは冒頭の通りの感覚。次回からは、移住希望の方々へより実感のこもった最新の冬事情を紹介できそうです。

町長メッセージ

熊谷 泉

毎

年多くの種目で世界選手権、ワールド

カップが開かれ、県出身選手もその名を轟かせているが、4年に一度のオリンピック、パラリンピックへの出場となるとまた格別の厳しさがある。今年のオリンピック、パラリンピックもあと半年を切っているが、未ださまざまな種目において、日本代表としての出場権をかけて熾烈な戦いが続いている。

年に県バレーボール協会、町体育協会、町商工会、町観光交流協会(株)オガールなどの方々に委員となっていたいただき、東京オリンピック事前キャンプ紫波町誘致委員会を立ち上げた。その後、盛岡市の応援もいただきながら、カナダのホストタウン登録を経て、今回の決定となったものであり、改めて関係各位に感謝を申し上げたい。

そんな中で、カナダの男子バレーボールチームが1月にバンクーバーで行われた北米中米大陸予選で強豪国キューバを下し最後のオリンピック出場権を獲得した。その後、バレーボールカナダから当町において事前キャンプの申し入れがあった。

町は平成28年に事前キャンプ誘致を決定し、29

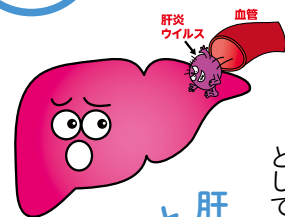
私も昨年6月にはシカゴ、9月には大阪でバレーボールカナダの強化部長にお会いし、直接要請を行った。平成30年にカナダの女子バレーボールチームがオガールで実施した合宿の高評価も伝わっており、男子チームも町の子どもたちとのふれあいを楽しみにしているとのことである。町内の皆さんにもぜひ応援していただきたい。



体の健康

あなたの肝臓は大丈夫？

～肝炎ウイルス検査 一生に一度は受けましょう！～



肝機能障害の原因と肝機能検査

肝機能障害の多くはウイルスの感染によるものですが、

③貯蔵：合成した栄養を貯蔵し、必要なときにエネルギーのもととして供給します。

②解毒・分解：体の中の老廃物や、外から持ち込まれたアルコール、薬を害のないものにします。

①合成：胃や腸で消化・吸収された食べ物の栄養素を原料として、体に必要なものにつくり変えます。

肝臓の働き

肝臓の働きは大きく3つに分けられます。

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、なかなかSOSを出しません。「体がだるい」と気付くころには、かなりの重症になっています。

肝臓は体の中で一番大きな臓器で、体重の約50分の1の重さがあり、右上腹部のほとんどを占めています。

ウイルス性肝炎とは？

アルコールの飲みすぎによるアルコール性肝障害、過食による過栄養性脂肪肝は、生活習慣病との関わりが強く、近年増加しています。

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスの感染により肝臓の炎症が続き、肝臓の細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気です。肝臓は予備能力が高く、自覚症状がないまま病気が進むことがあり、進行すると肝硬変・肝がんになることもあります。

肝機能検査でAST(GOT)値やALT(GPT)値の高値が持続すると肝臓の炎症が強く、肝炎が進行しやすいといえますが、低いからといって進行していないとはいえません。肝炎から肝硬変への進行を予測することはとても重要で、AST(GOT)値やALT(GPT)値だけでなく、肝炎の進行に従っ

◆AST(GOT)◆

細胞内でつくられる酵素で、ほとんどの臓器に存在している酵素です。体内でのアミノ酸代謝やエネルギー代謝の過程で重要な働きをします。AST(GOT)は肝臓以外の臓器にも存在するため、肝機能障害のほか心筋梗塞、骨格筋障害でも高くなります。

◆ALT(GPT)◆

細胞内でつくられる酵素で、主に肝細胞に存在しています。体内でのアミノ酸代謝やエネルギー代謝の過程で重要な働きをします。この数値が高いということは、それだけで肝臓が障害を受けているという状態を反映しています。

◆γ-GTP◆

肝臓や腎臓などでつくられる酵素で、肝臓では通常肝細胞や胆管細胞に存在し、胆汁中にもあります。たんぱく質を分解・合成する働きをします。お酒の飲み過ぎ・肥満や薬などにより数値が高くなります。胆汁うっ滞や胆管細胞が破壊されても高くなります。

肝炎ウイルス検査を無料で実施しています

肝炎ウイルスに感染しているか

肝炎ウイルスに感染していることが分かったら…

肝炎ウイルスに感染していると、全く自覚症状がなくても、病気が進行することがあります。肝炎ウイルスに感染していることが分かったら、必ず医療機関を受診しましょう。また、全く自覚症状がない場合でも定期的に医療機関を受診し、常に肝臓の状態をチェックしておくことが大切です。

どうかは、採血して血液を検査します。

町の総合検診で、肝炎ウイルス検査を無料で実施しています。40歳以上で、まだ検査を受けていない人は、肝炎ウイルス検査を受けましょう。



福祉

障がいがある人への理解を深める講演会を開催します

講演会「障がいのあるご本人とご家族からお話をお聞きする」

参加無料

「筋ジストロフィーの青年と重症心身障がい児のお母さまのお話」

障がいがある人への理解を深め、障がいがある人もない人も共に生きる地域づくりを学びます。

次第に筋力低下が進行していく筋ジストロフィーという難病がありながらも、働きながら生活している当事者の話と、重症心身障がい児の保護者の立場からのお話です。

どなたでも参加できますので、事前に申し込みの上、ご参加ください。多くの方々のご参加をお待ちしています。

■日時 2月29日(土) 開演：午後1時30分～3時30分(開場：午後1時)

■会場 情報交流館2階大スタジオ

■内容 講演会「障がいのあるご本人とご家族からお話をお聞きする」

講師① 畠山 駿也さん(紫波町在住・会社員)

題目「私のこれまでのこと、現在のこと、そしてこれからのこと」

講師② 藤村 ゆみ子さん(NPO法人ムーヴメント児童発達支援事業所とくたん所長/岩手県重症心身障がい児(者)を守る会副会長)

題目「重症心身障がい児の母として、

きょうだい児の母として」

■対象

紫波郡内在住の人、保健・福祉・行政・教育・医療機関に従事する人

■定員

150人

■申込・問合せ

2月25日(火)まで
紫波地域障がい者基幹相談支援センター

☎(601)28005

FAX(601)2826

身体障がい・知的障がいに関する個別相談会

講演会の開催前に、身体障がい・知的障がいに関する個別相談会を開催します。困り事や悩み事に、町の障がい者相談員が個別に相談に応じます。

相談無料 予約不要

■日時 2月29日(土)午前10時～正午

■会場 情報交流館2階小スタジオ

■問合せ 健康福祉課福祉推進室

☎(672)2111

内線1321



■担当 健康福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1321

ヘルシーレシピ



【桜エビとひじきのおにぎり】

(エネルギー214kcal、カルシウム110g、鉄分0.6mg、塩分0.5g)

作り方

- ①桜えびは乾煎りする。ひじきは戻してAで煮て汁気をきる。チーズは5mm角に切る。
- ②温かいご飯に①を混ぜて握る。

材料 [1個分]

ご飯…………… 100g
桜えび………… 2g (大さじ1)
ひじき(乾) …… 1g
砂糖…………… 小さじ1/2
① 醤油…………… 小さじ1/2
水…………… 100cc
プロセスチーズ …… 10g

【じゃこと梅の雑穀おにぎり】

(エネルギー215kcal、カルシウム79g、鉄分0.2mg、塩分0.6g)

作り方

- ①じゃこは乾煎りする。梅は刻む。青じそは千切りにする。
- ②温かいご飯に①を混ぜて握る。

材料 [1個分]

雑穀ご飯…………… 100g
ちりめんじゃこ …… 大さじ1
カリカリ梅 …… 小2個
青じそ…………… 1枚

ポイント

★カルシウムが豊富な桜えびやチーズ、ちりめんじゃこ、鉄分が豊富なひじきや雑穀などを普段の料理に取り入れて、不足しがちな栄養素を効率よく摂取しましょう。

【レシピ提供】健康福祉課 森川利佳主任栄養士

まちの話題

町は1月24日、学校給食で県オリジナル水稻品種「銀河のしずく」を初めて提供しました。同日は品種の開発経緯や稲作について知ってもらおうと、片寄小学校(浅倉圭校長)で交流会を開催。生産者である(株)高橋農園の高橋淳さん、盛岡農業改良普及センター所長の渡辺芳幸さんなどが、4・5年生の児童と一緒に、町内で生産された「銀河のしずく」を味わいました。

高橋さんからは「銀河のしずくはつやのある白さが特徴で、冷めてももちりとした食感が人気のお米です」とお話があったほか、県産米キャラクター「おこめきょうだい」の「ぎんがっち」も訪れ、魅力をPRしました。児童たちは「つやつや、もちもちしていて、噛み応えがあっておいしい」と顔をほころばせていました。

「銀河のしずく」は県央地域での栽培に適しており、本年度は町内で90人の生産者が約151ヘクタールで栽培しました。

つやつやもちもち 県オリジナル品種「銀河のしずく」給食



「銀河のしずくを作る条件はあるの?」「なんで新しい品種を作ったの?」
興味津々の児童たち



みずき団子で世代間交流

オガール保育園(小笠原久子園長)で1月21日、五穀豊穰を祈る小正月行事「みずき団子」作りが行われました。同園の3~5歳児89人のほか、日詰地区の老人クラブ、婦人会、ボランティア協議会など地域住民19人が参加。園児たちはおじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に赤、白、黄、緑4色の団子を手のひらで丸め、一つ一つみずきの枝に飾り付けました。

一生懸命団子をミズキの枝に飾り付ける子どもたち

令和元年度県市町村広報コンクール審査会が1月16日に開かれ、「紫波ネット9月号No.1015」が第3位に選ばれました。受賞した9月号では「今、図書館がおもしろい来て、見て、調べて、楽しもう!」と題して町図書館の特集。「図書館の開放感と奥深さを丸ごと表現している」と評価されました。応募点数30点中、1位は軽米町、2位は二戸市、3位は当町と田野畑村、平泉町が受賞。「紫波ネット」は、これからも皆さんに親しまれる広報紙を目指してまいります。



『紫波ネット』
が
県内3位

3位入賞を果たした令和元年9月号



一年の無病息災を祈願

無病息災を願う伝統行事 五元日祭裸参り

志和八幡宮氏子青年会(高橋一弘会長)は、毎年1月5日の伝統行事、無病息災を願う五元日祭裸参りを行いました。この行事は南部杜氏の起源である権兵衛酒屋の蔵人たちが始めたといわれ、戦後一度途絶えたものの、昭和50年に同会が復活させ今年で45回目。気温はマイナス6度と厳しく冷え込んだ早朝6時、奉納者19人は白い息を吐きながら、鐘を鳴らし一歩ずつゆっくりと挟みを振り、荘厳な面持ちで一歩ずつ参道を練り歩きました。初参加の福田晃さん(志和地区)は「初参加ですが、身が引き締まる思いです。昨年町に引っ越してきたので、家族4人が楽しく暮らすことができれば」と願いを込めました。

「鬼はそと!」「福はうち!」 節分おたのしみ会

子育て応援センター「しわっせ」主催の節分おたのしみ会が1月30日、情報交流館で開かれました。0歳から3歳までの子どもと保護者合わせて50組115人が集まり、職員による節分をテーマにしたオリジナル演劇を楽しみました。劇中に登場した3匹の鬼を退治するため、子どもたちは「鬼は外」と大きな声を出し、必死になって鬼にカラーボールを投げました。鬼を退治した子どもたちは、心の中の泣き虫鬼やいやいや鬼、おこりんぼう鬼も追い払ったようでした。赤石地区の伊藤汐理さんと創亮君(1歳7カ月)親子は「鬼を怖がることなく、豆まきも音楽も楽しんでいました」と満喫した様子でした。



節分にまつわる劇や歌をみんなで楽しみました

100歳おめでとう! 藤倉 正造さん(赤石)

若いころはバイクに乗るのが好きで、社交的で地域の集まりなどにも欠かさず出ていたという藤倉さん。足腰もしっかりしており、お祝いに駆けつけた熊谷町長から元気に花束を受け取りました。藤倉さんは「ここまで長生きできたのがうれしく、毎日楽しいです」と感謝の気持ちを話しました。

町内の100歳以上のご長寿は藤倉さんを含めて16人で、男性4人、女性12人です。(1月31日現在)

「長生きの秘訣はよく寝ること」と話す藤倉さん(左)と熊谷町長



また、それに取り組むNPO法人やボランティア団体、自治組織などの組織づくりを支援

豊かな公が
息づいまち

全国の樋爪さん大集合 ★ひづめ館懇話会

紫波に集合した全国の樋爪さん



全国の樋爪さんの歴史ロマン
あふれるお話に聞き入る参加者

ひづめ館懇話会は、町指定史跡「樋爪館跡」を広く町内外に発信してきました。100号を超えた会報「ひづめだて」の発行、遺跡ガイドのほか、小中学校や公民館などでの歴史講座など、その活動は多岐に渡ります。

10年の節目を迎えて企画した記念イベントの一つ、サミット「全国の「樋爪さん」大集合in紫波！」は、全国の樋爪姓の皆さんに集まっていただき、ルーツや伝承を語り合いながら空白の歴史に新たな史観を見出す、という壮大なもの。サミット当日は北海道から関東、北陸地区や京都、大阪まで11家族17人

の樋爪さんと、180人もの参加者が大集合。会場は熱気に包まれました。北海道から参加した樋爪千鶴子さんは、「こんなに多くの「樋爪さん」が大集合できたことはとてもうれしいです。今後ともつながりを大切にしていきたいです」と語りました。

参加できなかった「樋爪さん」からも多くの応援メッセージが寄せられるなど、今後は全国各地に広がる「樋爪さん」による「樋爪」族会（仮称）など、ネットワークづくりも視野に入れているようです。郷土の歴史を未来へつなぐため、新たな10年に向けたひづめ館懇話会の挑戦は、これからも続きます。

多面的機能も持つ里山を100年後の子どもたちへ ★城山に新たな里山を創る会



桑茶の試飲会ではさまざまな感想を得ることができました



シンポジウムのパネリストの皆さん

城山に新たな里山を創る会は「多面的機能を持つ里山を100年後の子どもたちへ残し伝えていく」というスローガンに活動を始めた。

城山の北側にある荒廃した民有地を新たな里山として整備するとともに、その維持管理を継続していくために桑を使った里山循環ビジネスの構築を目指しています。

本年度は、活動を広くPRするためのシンポジウムを開催するとともに、ビジネスの要となる桑の育苗と今後開発予定の桑商品の検討を行いました。

シンポジウムでは「桑と健康から養蚕イノベーション」と題し、桑がもたらす健康長寿への可能性が語られました。

また、城山で環境学習を続けてきた環境マイスター紫波の佐藤喜一会長や野鳥愛好家の藤澤幸代さんは、さまざまな角度からその魅

力を伝えていました。新たな里山創生プロジェクトの全貌に触れた参加者は、今後の展開に期待を寄せていました。

昨年育苗した桑は無事に活着し、今後整備が進む里山への植林が予定されています。桑商品の開発検討として、全国から桑茶を集め、町内各地で試飲会を開催しました。初めて桑茶を飲んだ参加者もいたようですが、それぞれの違いを味わいながら自分好みのお茶を探していました。結果は、桑に期待する効能や好みが世代や性別で異なることが分かり、マーケティングの重要性を感じたようです。また、古館にある小屋ハウスや月の輪酒造店の協力で桑茶入り大福や甘酒を試作するなど、商品化に向けた動きも始まっています。

1年間の活動を終えて着実に前進したプロジェクトは、今後さらに、里山整備、桑商品開発へとつながっていきます。

2 補助金の内容

- (1) スタートアップ補助金
団体の組織づくりや研修などに要する費用(上限10万円)
- (2) ステップアップ補助金
活動の拡充や新規事業に取り組むための費用(上限30万円)

- 提案受付期間 3月6日(金)まで
※申請の相談は、情報交流館1階のゆいっとサロン(☎676-2468)でも受け付けています。
- 事業提案審査会 3月22日(日)
- 事業提案審査会の公募審査員(3人)、運営スタッフ(若干名)を募集して

います。3月6日(金)までに申し込みください。

- 提出先・問合せ
企画課 地域開発室
☎672-2111
内線2321



「地域づくり活動補助金」は、地域の皆さんの柔軟な発想による地域の活性化や課題解決につながる活動、するための補助金です。本年度補助金を活用した4団体の活動を紹介します。

まち歩きが楽しめる地域づくりを 目指して ★紫波歴史研究会

町内の史跡・遺跡などを
巡るコースを考案

町の地域おこし協力隊
や関係団体を招いて
行った試作品発表会



平成29年10月に設立した紫波五郎沼歴史研究会は、今後さらに町全体の歴史文化を研究・発信していくこと「紫波歴史研究会」と名を改めました。本年度は地域の歴史を分かりやすく学べるナビゲーションシステムの構築と、歴史をテーマにまち歩きが楽しめるような仕組みづくりを目指して活動してきました。

まず、これまで集積してきた史跡・遺跡などをテーマごとに組み立て、ストーリー性のあるまち歩きコースを3コース作成。さらに「地域の子どもたちにも町

の歴史に触れてほしい」という思いで、町内飲食店や産直、イベントなど、町の観光情報も併せて発信することを企画。さまざまな分野の人との情報交換のため開催したシステムの試作品発表会には20〜60代の男女17人が参加し、見やすさやデザイン性、操作のしやすさ、情報収集や発信の仕方について多くの意見が寄せられました。これらの意見と参加者とのつながりを生かしながら、システムの充実を図っています。完成後は、コースを実際に巡る観光ツアーを検討するなど、今後の活動にも意欲的です。

地域の暮らしの豊かさを 目指して ★チーム音めぐみ

日詰商店街の一角にある日詰6区公民館（鈴の音サロ）で、チーム音めぐみが活動を始めて2年が経ちました。誰もが自由に集えるオープンカフェとして開催してきた24節季力フェ。地域の憩いの場となるとともに、地域、世代を越えて開かれた場として、新たなコミュニケーションの拠点となっています。初めは「参加者だった人が、いつのまにか「協力者」として、おもてなしをしている、というつながりもこの活動の魅力の一つです。本年度新たに始めた鈴の音ナイトでは、ゲストを迎えたトークイベントやライブ、ヨガ教室を企画。中でも、一昨年東京から移住してきた小野紀之さんを迎えてのトークイベント

では「移住者からみた紫波町、日詰商店街の魅力」が語られ、商店街のこれからに生かせるような楽しいアドバイスもあり、昼の時間帯とは一味違った時間が流れていました。

これらの活動により、鈴の音サロンはリメイク教室や料理教室、ギャラリートとしても利用されるなど、新たな人が街を訪れるようになりました。2階には機械織が並び、毎週火・金曜日には機械織サークルのメンバーが集まります。利用者は商店街に繰り出し、食堂で食事をしたり、日常の買い物をしたりするなど、鈴の音サロンを拠点に人の流れは商店街へとつながり始めました。町内外の自由な交流拠点として商店街の新たな魅力の一つとなったこの場所は、今後も人と人が自由に行き交うまちの未来につながっていくことでしょう。

貸しスペースとして利用され、
多くの人でにぎわいます



料理教室では季節
の料理を楽しむこと
ができます



「想いをかたちに」令和2年度の地域づくり活動補助金事業提案を募集します

来年度の事業提案を受け付けますので、提案を検討する団体はお早めにご相談ください。

※この補助金は令和2年度予算の成立が前提です。今後、内容などが変更になることもありますのでご了承ください。

■補助金の概要

1 対象団体

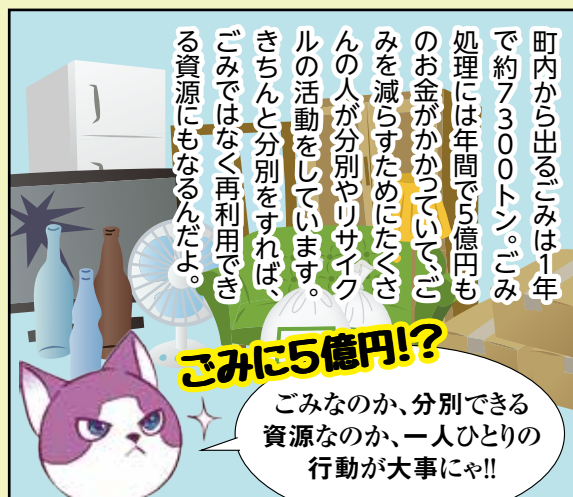
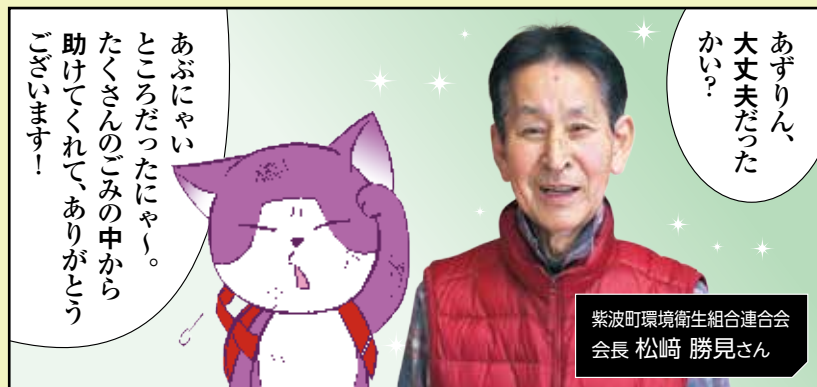
特定非営利活動法人または営利を目的としない任意の市民活動団体で、次の5点全てに該当する団体

- (1) 5人以上で構成されている団体
- (2) 団体の所在地が町内にあり、主とし

- て町内で公益事業を行う団体
- (3) 事業計画および収支を示し、計画的に事業を実施する団体
- (4) 特定の宗教、政治活動および選挙活動を目的としない団体
- (5) 公序良俗に反しない団体

行ってみよう

紫波の自然と環境編①
「ミニエコまつり」



紫波町産業部環境課

■住所

紫波町紫波中央駅前2-3-1

■電話

☎672-2111(代表)

「ミニエコまつり」は、地域や団体からのご要望に合わせて開催できます。気軽に問い合わせください!

町環境衛生組合連合会と町ごみ減量女性会議が、各地区公民館などで開催する「ミニエコまつり」。毎年7月に情報交流館で開催されている「エコまつり」の地域版として、家族みんながごみに関心を持ち、分別について知るきっかけとして行っています。会長の松崎さんは「分別すればごみは減ります。町のごみの量は、県内33市町村で11位。10位以内を目指しましょう!」と語ります。今年は町の環境・循環基本計画の見直しの年です。一人ひとりがごみの減量に向けて、分別に取り組みしましょう。

一人ひとりが
ごみを減らそう!



あずりん

東根山で暮らす、ねこの子ども。紫波の自然と環境を守るためなら「ねこの手を貸す」よ! 紫波のくだものが大好物!